

## 令和4年度 日光清掃登山（栃木県山岳・スポーツクライミング連盟共催）

7月3日（日）

### 参加者

会員：石澤、菱田、大島、村田、林、麦倉

ゲスト：板橋夫妻、林夫人、麦倉妻

### コース

湯元	――	赤沼駐車場	――	高山登山口（竜頭の滝上）	――	高山山頂	――
8：00		8：20		8:40		9：55	10:10
熊窪分岐	――	幕張峠	――	赤沼駐車場（解散）			
10:40		11：00		11：30			

当日7時半、日光湯元のビジターセンター前広場で、清掃登山の開会式がある。栃木岳連自然保護委員会の江崎委員長の挨拶、さらに会長の石澤本支部副支部長がある。それから共催団体の本支部の渡邊支部長より、山の日の啓蒙活動とその意義についてふれたい挨拶がある。開会式終了後、本支部会員とゲストは、本日の行動予定を確認し、出発地の赤沼駐車場へ移動する。

出発前の集合を済ませて、本日の行動確認後、渡邊支部長の見送りを受けながら、のんびり親子登山教室の下見を兼ねて一行は登山行動を開始する。戦場ヶ原をかすめるように、湯川沿いの道を石楠花橋と、竜頭の滝の上に歩を進める。日差しが出る中、樹林の中を、朝の空気を吸いながら気持ちよく歩く。滝上についていよいよ高山の登山口に達する。ここで水分補給をしながら小休止をとり、これからの登り道に備える。高山への登りは、最初は1606m峰の巻き道を進みながら、皆ペースを合わせて確実に登っていく。そこから、峠までの登りを少し汗ばみながら標高を上げながら登ると、風が涼しい峠にたどり着く。中禅寺湖からの風が涼しく、そこで休憩をする。しかしその涼しい風は、この後の天候の変化の前触れとなる。その後、高山への登り道を、涼しさも助けとなり快調に登り、高山山頂にたどり着く。

山頂では、小雨が降るが、まだそんなに悪い天気では無く、涼しさに助けられているような様子であった。しかし頂上手前から、群馬県側の方向より雷鳴が響くようになり、今後の天候の悪化を予感せざるを得ない状況となってきた。

休憩で皆水分やエネルギーを補給して、天候悪化を心配しながらの下山にかかることとなる。

下山し始めるとほぼ同時に雨が降り出してくる。熊窪分岐手前では雷鳴とともに雨も非常に強くなり、皆で雨具を着る。雨装備で下山を続けるが、雷鳴は少しずつ近づくような気配となる。樹林の中を雨に打たれて、雷鳴を聞きながら幕張峠にたどり着く。この天候で、小田代ヶ原に行くことも難しいと判断し、そこからは計画を変更してそのまま車道をたどり、赤沼へ戻ることにする。

激しい雨に、皆ずぶ濡れになりながらも久しぶりの涼しさに体を癒やしながらか、石楠花橋を超えて、11時30分過ぎには赤沼駐車場に無事に帰着する。

解散のため全員で集合して、全員の無事を確認し、それぞれの労をねぎらいながら登山行動を終了する。

後半は天気の悪化があったものの、皆高山の登りを頑張り、下りも雨の中であつたにもかかわらずスリップも無く、けがなども無く無事に終了できた。何と言っても、下界の暑さをしばし忘れることができ、素晴らしい日光の自然を満喫し、ゴミを拾い自然への感謝の気持ちで皆で行動できたことは、参加した人それぞれにとって充実した時間であったのでは無かろうかと思う。

